
不細工なタンポポ

ランデブー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

不細工なタンポポ

【Nコード】

N5714B

【作者名】

ランデブー

【あらすじ】

日陰に咲いた不細工なタンポポの思い――。

(前書き)

1000文字以内で小説を書いてみよう!という、超短編小説シリーズ第1弾です。

私はタンポポ。

駅のホームにひっそりと咲いている、孤独な花。

何故孤独かって？

だって、皆陽当たりの良い場所に咲いてるのに私だけ日陰に咲いているから。太陽の光が当たらなくて私は綺麗な顔にはなれず、ずっと不細工だから。そして、恵みの雨にも当たらないから喉がカラカラ。

望んで日陰に咲いてるわけじゃないのに、皆は私をいじめる……。

「お前を見てる人間なんて一人もないぞ」

「そんなに不細工な奴は枯れてしまえ」

「咲いてても無駄だよね」

皆の言う事も分かる。

花っていうのは綺麗じゃないと喜んでもらえないし、不細工だったら捨てられるって事。

でも私は、何もかも見た目で判断してはイケないと思う。外側から見るとそれはとても美しいかもしれない。だけど、内側から見るとどうなんだろう？

表の顔は偽りの仮面を被っているかもしれない。

皆は、正にそれだ。私をいじめる悪者。

「不細工は踏み潰されろ」

「不細工は燃えてしまえ」

「不細工は一生そのまま」

世界はなんて理不尽なんだろうか……。私はこんなにも精一杯毎日を生きているのに、それをいとも簡単に邪魔をして楽しんでいるんだ。理由なんてなくて、私がたまたまここに咲いていたからいじめるんだ。

何故私だけがこんなにひどい仕打ちを受けなくちゃいけないの？
私がか何か貴方達の心を傷付ける事をしたの？

「……………」

息が喉につまるような声を出して泣く事しかできない。私はつらさを堪え忍び、神様に願った。

綺麗にならなくてもいい、文句を幾ら言われても構わない、どうか、私を見て幸せな気持ちになる人間がいますように――。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5714b/>

不細工なタンポポ

2010年10月8日13時19分発行